

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	森林愛護運動推進事業		担当課 経済課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間 昭和62年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別 任意の事務
	基本事業	緑地の保全	市民協働
予算科目コード	01-060201-02 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
（公社）茨城県緑化推進機構の実施要項に基づく補助金により、守谷小学校周辺の整備を目的に開始した。	緑を育てる活動を通じて、心豊かな人間に育つことを目的として、公益社団法人茨城県緑化推進機構から補助金を受けて、緑の少年団（守谷小学校5年生）が守谷沼周辺の清掃・野外観察・里山作りを行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
緑の少年団による、小学校周辺の清掃及び里山作り、学校花壇の整備を通じて、自然を愛し、保護する精神を養う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
緑が確保されたいるおいある景観を維持するため、市民・行政の協働により緑を保全する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
身近なみどり整備推進事業と事業統合し、事務の効率化を図る。	身近なみどり整備推進事業との統合を29年度から実施するに当たり、予算の統合について調整を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
緑の少年団数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	平成28年度においては、身近なみどり整備推進事業との統合を実施しなかったため。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成29年度から事務の効率化を図るため、身近なみどり整備推進事業と統合する。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	30	20	26	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	15	13	13	0	0
	一般財源	15	7	13	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	55.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	226	0	0
トータルコスト		30	20	252	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	身近なみどり整備推進事業		担当課 経済課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間 平成20年度～平成29年度
	施策	緑を生かした景観の形成	種別 任意的事務
	基本事業	緑地の保全	市民協働
予算科目コード	01-060201-03 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成20年度から茨城県が森林湖沼環境税を財源として、荒廃した平地林や里山林の整備・保全を開始した。	森林所有者の要望を受け、市が身近なみどり整備推進事業費補助金を活用して、山林の下草刈や枝打ち、間伐、標識の設置を行い、翌年度以降10年間の森林環境保全を図るため、森林所有者と管理協定を締結する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
荒廃した平地林や里山林を整備することにより、市民が安心して散策や緑陰を楽しめる豊かな森林の環境づくりを図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
緑が確保されたうるおいある景観を維持するため、市民・行政の協働により緑を保全する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
森林愛護運動推進事業と事業統合するとともに、名称を改め、事務の効率化を図る。	森林整備を0.17ha実施した。また、森林愛護運動推進事業との統合を平成29年度から実施するに当たり、予算の統合について、調整を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
累計整備面積（ha）	18.73	18.89	19.06	21.06	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	荒廃した森林が0.17ha整備された。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	県事業は、平成29年度で終了する予定となっている。なお、平成29年度から事務の効率化を図るため、森林愛護運動推進事業と統合する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	1,801	595	618	1,582	26
	国・県支出金	1,696	594	616	1,555	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	101	0	0	13	13
	一般財源	4	1	2	14	13
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	156.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	640	0	0
トータルコスト		1,801	595	1,258	1,582	26

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	緑化推進啓発事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成 7年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	任意の事務
	基本事業	緑地の保全	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-080402-01 単独	根拠法令・条例等	守谷市公園等里親事業実施要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成5年の「守谷市緑の保全と緑化の推進に関する条例」の制定に基づき、平成14年に「守谷市緑の基本計画」及び「守谷市公園等里親事業実施要綱」を制定し、健康で明るく住み良い街にするために行政・事業者・市民が一体となって、緑化を推進し緑豊かな生活環境の形成を図る。	ボランティア団体等により公園や植栽ますの草刈や花苗の植え付けを行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
協働のまちづくりの一環として、地域の公園や植栽ますの維持管理をしていただき、花苗の植え付け等をボランティア団体（地域住民等）に行っていただき、緑化を推進する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
緑が確保されたうるおいある景観を維持するため、市民・行政の協働により緑を保全する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
ホームページや広報等を活用し、公園里親事業のPRを行い、参加団体を増やし市内の緑化推進を図る。	PR活動を行ったことで、今年度新たに4団体参加していただいたが、その一方高齢化等の理由により3団体が参加を取りやめた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
参加団体数（団体）	52.00	54.00	55.00	56.00	60.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	新たな参加団体はあるものの、参加を取りやめる団体もあるため、参加団体は微増の状態である。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	市民協働で行っている緑の窓口の一本化を行うため、建設課に移管したうえで「公園等まちづくり団体助成事業」と統合し、事務の効率化を図るとともに、さらなるPR活動を行い、成果の向上を図る。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	4,028	3,323	3,616	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,028	3,323	3,616	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	567.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	2,325	0	0
トータルコスト		4,028	3,323	5,941	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	保存緑地等指定助成事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成 7年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	法定+任意
	基本事業	緑地の保全	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-080402-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市緑の保全と緑化の推進に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>平成5年の「守谷市緑の保全と緑化の推進に関する条例」の制定に基づき、健康で明るく住み良い市民生活の確保に寄与し、また貴重な資源である緑を、後世に残すために、保存緑地等の所有者に対して助成を行う。</p>	<p>保存樹木所有者への助成を、樹木1本当たり5,000円/年（59本）行う。保存緑地所有者への助成を、500㎡以上2,000㎡未満の所有者に対しては10,000円/年（対象者106人）、2,000㎡以上5,000㎡未満の所有者に対しては15,000円/年（対象者66人）、5,000㎡以上の所有者に対しては20,000円/年（対象者31人）行う。全体の保存緑地指定面積は約78.0haである。愛宕谷津については、借地料が1㎡当たり5円/年（対象者71人）で対象面積は約12.6haである。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>「守谷市緑の保全と緑化の推進に関する条例」に基づき、所有者の協力を得て保存緑地及び保存樹木として指定することにより、緑豊かな自然環境を形成している緑地等を保全し、地域の美観、風致を維持する。また、愛宕谷津一帯は緑の拠点と位置付けられており、借地することにより恒久的に保全していく。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>緑が確保されたうるおいある景観を維持するため、市民・行政の協働により緑を保全する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
「保存緑地取得事業」と「保存緑地等指定助成事業」を統合し事務効率化を図る必要がある。	愛宕谷津について、新たに3地権者、4,601㎡の借地を行った。「保存緑地取得事業」と「保存緑地等指定助成事業」を統合に向けて取組み、平成29年度より統合を行う。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
保存緑地指定面積（㎡）	780,757.00	780,757.00	780,757.00	780,757.00	780,757.00
保存樹木指定面積（本）	61.00	59.00	59.00	59.00	59.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	愛宕谷津においては、更に借地を進め、保全する基盤が出来た。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成29年度より「保存緑地取得事業」と統合し事務の効率化を図る。保存樹木について、改めて保存樹木に相応しいか再検討する必要がある。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	2,959	2,941	3,394	3,625	3,625
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,959	2,941	3,394	3,625	3,625
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	257.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,054	0	0
トータルコスト		2,959	2,941	4,448	3,625	3,625



## 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	保存緑地取得事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成22年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	任意の事務
	基本事業	緑地の保全	市民協働	共催
予算科目コード	01-080402-03 単独	根拠法令・条例等		

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
近年、都市化の進展、開発等による緑地等の減少が目立つようになってきた。そのため、緑の基本計画に位置付けられている守谷を代表する貴重な緑地を残す施策が必要になったため、平成22年度より取得事業を行った。	取得した野木崎地区の保存緑地について、地元ボランティアや元地権者の皆さんに協力を仰ぎ、草刈や剪定を実施した。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
緑豊かな自然環境を形成している緑地を保全するため、代表する緑地の買収を計画的に実施し、緑の景観を将来まで残すことで、うらおいのある景観を保持する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
緑が確保されたうらおいある景観を維持するため、市民・行政の協働により緑を保全する。	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
「保存緑地取得事業」と「保存緑地等指定助成事業」を統合し、「保存緑地事業」として、事務の効率化を図る必要がある。	保存緑地（北園森林公園内，2地権者，計2,443.87㎡）の買収を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
緑地取得面積（保存緑地以外を含む）（㎡）	5,183.00	0.00	2,443.87	0.00	0.00
保存緑地取得済面積（㎡）	40,682.00	40,682.00	43,125.87	43,125.87	43,125.87
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	代表的な保存緑地の買収は、予算の範囲内で計画的に行われている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	平成29年度より「保存緑地等指定助成事業」と統合し、事務の効率を図るとともに、取得した保存緑地については、管理を建設課に移管し、市民との協働を踏まえた、維持管理体制の構築を図る。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	119,110	4,733	33,251	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	119,110	4,733	33,251	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	98.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	402	0	0
トータルコスト		119,110	4,733	33,653	0	0